				ステップ 1	ステップ 2	ステップ 3	ステップ 4	ステップ 5	ステップ 6	ステップ 7	ステップ 8	ステップ 9
チャレンジ目標						じぶんにできることはやってみよう!! じぶんのからだにかんしんをもとう!!		自分にとって大切なことを知っていこう!! 自分の病気のことを知っていこう!!		自分らしい生活を送るための知識を持とう!! 自分の病気や体を正しく理解しよう!!		療養行動を工夫して生活の質を高めよう!!
あなた	生活のこと	生活習慣について（食べる、寝る、遊ぶなど）				●ごはんをたべて、ぐっすりねて、いっぱいあそぼう	●学校やお家でみのまわりのことを、じぶんでやってみよう	●生活習慣のお約束を守ってみよう	●生活習慣のルールが守れているか、自分でもチェックすることが出来る	●自分の体調に合わせた生活習慣を見つけて、実践することが出来る	●自分の体調に合わせた生活習慣を身につける	●体調不良を招かないように生活習慣に気を付けて過ごすことが出来る
		まわりの人との関係について				●おともだちと あそんでみよう	●お友だちといっしょに、色々なことにチャレンジしてみよう	●困った時に「助けて」って言ってみよう	●必要な時に、自分に必要な援助を周りの人に伝えることが出来る	●必要な時（人）に、自分の病気や悩みについて話をすることが出来る	●必要な人には、自分の病気や悩みについて話をすることが出来る	● 自分の病気について大切な人に説明し、理解と協力を得ることができる
		体調不良について				● いたいときや へんだなと おもったら おとなに はなしてみよう	●じぶんのいたいところやしんどいことを分かるようにしよう	●体調が悪い時は、周りの人に伝えてみよう	●体調不良を周りの人に伝えて、体を休めることが出来る	●体調不良時の対応（対処）が出来る	●病状が悪くなるサインに気づき、自分で対処ができる	●体調不良への予防する行動が取れる。
		意思決定について（自分で決めること）					●じぶんのちりょうって何？どんなんだろう？ってきょうみやかんしんをもとう	●「先生、教えて。私の治療や薬のこと」って聞いてみよう	●自分が受けている治療を理解することが出来る	●自分の治療について決める話し合いに参加し、自分の意思を伝えることが出来る	●治療について分からないことを質問し、自分の言葉で整理をし、考えを伝えることが出来る	●必要な医療情報を自分で集め、正しい知識を持ち、意思決定が出来る
	病気のこと	おくすりについて				●おくすりを いやがらずに がんばってみよう	●お薬が大事だと分かる	●薬を自分で準備して、薬を飲んだり打ったりしてみよう	●処方されている薬の名前が言える	●処方されている薬の名前、効果、副作用などが言える	●処方されている薬を適切に管理することが出来る	●処方されている薬について、必要な知識を理解出来る
		自分の病気について					●じぶんの体にかんしんをもとう	●自分の病気のことを、先生やお家の人に聞いてみよう	●自分の体や病気を理解する ●自分の病気で注意するすることを周りの人の人に伝えてみよう	●自分の病名と、どんな病気かを言える	●自分の疾患やどんな病気かを理解し、説明出来る	●自分のこれからの治療方針、起こり得る合併症について理解が出来る
		療養行動について					●りょうようこうどうを、毎日つづけよう	●りょうよう行動ができると、友人と同じように過ごせることが分かる ●自分にとってりょうよう行動が大切なことが分かる	●正しく療養行動をしていれば、友人と同じように過ごせることを理解する ●自分に合わせた療養行動が大切なことだと理解する ●集団生活の中で療養行動に取り組むことが出来る	●学校生活の中で療養行動の工夫が出来る	●自分の生活に合わせた療養行動の工夫が出来る	●生活の質を高めるための療養行動について工夫が出来る
		病院の受診について				●びょういんに いやがらずに いこう ●びょういんに いくのは たいせつなことだと しろう	●びょういんに行くりゆうにかんしんをもとう	●病院に通う理由と、自分の病気がつながっていることを知ろう	●病院を受診した時に、自分の症状について主治医に伝えてみる ●少しずつ一人で診察室へ入れるように準備をしてみる	●自分の症状や治療について自分の意見を伝えることが出来る ●診察の初めは一人で診察室に入ることが出来る	●自分に合った病院への移行に向けて、主治医と話し合うことが出来る ●診察室には一人で入ることが出来る	●自分に合った病院への受診の必要性を理解し、適切に選択が出来る ●必要な医療機関に、一人で受診が出来る
	家族	子どもとの向き合い方		●出産後の生活のイメージが持っておく	●子どもと子どもの病気を受けとめていくようにする	●病気だからと特別扱いせず、子育てを楽しむ	●子どもの疑問に出来るだけ答える姿勢を心がける	● 子どもの考えを考えや選択を尊重し、少しずつ子どもに任せていく姿勢をもつ	● 子どもが自分で考え話せるように、意見を受けとめサポートする	● 子どもの意思や選択を尊重し、必要に応じて助言する	● 子どもの意思決定を尊重し、相談があれば一緒に考える	● 子どもの意思を尊重し、必要なときは見守る
		子どもの病気について		●子どもの病気や治療について理解しておく ●正しい情報や知識をもとに、意思決定できるようにする	●子どもと一緒に過ごす時間を大切にし、安心できる関係を保つように心がける ●困っていること、悩んでいることを親しい人や医療者に相談してみる	●家族みんなで子どもの病気について話す時間をもつようにする ●病気について相談できる人や協力してくれる人をもつようにする	●ライフステージの変化に合わせた医療の変化を、主治医と相談する ●子どもと一緒に病気や治療のことをわかる言葉で話すようにする	●子どもに少しずつ病名や病気について伝えていけるようにする ●体や病気のことを、子どもと話し合う時間をもつ	●子どもが自分の病気に向き合えるように、周りとの関わりをサポートしていく	●受診時や治療の選択の際には、子どもの考えや意見を聞く姿勢を心がける	●子どもと一緒に将来のことについて考える	●子どもの病気や治療に関する意思を尊重し、必要に応じて相談相手として寄り添う
		療養行動について				●子どもと一緒に必要な療養行動について話をしていく	●子どもと一緒に療養行動に取り組むことを心がける	●子どもに療養行動を任せていく準備・心構えをしておく	●子どもの療養行動を見守りながら、出来る範囲で子ども自身に任せていく	●子ども自身に療養行動を任せながら、必要なサポートをする	●子どもの療養行動および自己決定を見守り、必要に応じて助言する（サポートする）	●子どもの療養行動および自己決定を見守る
		病院の受診について		● 緊急時や通院が難しいときに備えて、在宅医や地域の医療体制を相談しておく	●子どもの生活リズムに合わせて、必要に応じて園生活と調整しながら通院を行う	●子どもに病院に行く理由を少しずつ伝える	●子どもに病院に行く理由を伝えてから、一緒に受診するようにする	●子どもが病院に行く理由を理解できるようにサポートする	●少しずつ、子どもが一人で診察室に入れるようにサポートする	●診察の始めは、子ども一人で診察室に入るように促す	●診察室に子ども一人で入れるように見守る	●子どもが自分で必要な医療機関を受診出来るように見守る
		子どもの自立に向けて				●子どもに簡単な体調の変化を伝えられるようにする	●子どもが身の回りのことを自分でやり、自分の体について関心を持てるようサポートする	●必要に応じて、子ども自身が医師と話す場面を作り、親は見守る	●子どもが自分の言葉で、症状を主治医に伝えられるようにサポートする	●症状や治療について、子どもが自分の意見を伝えられるようにサポートする	●子どもに合った病院への移行に向けて、主治医と話し合うようにする	●子どもが自分に合った病院への受診の必要性を理解し、選択出来るように見守る